



# 日本語教師志望者 のためのガイドライン

## 英国学校における日本語教育



英国では、2011年現在で約300校の学校(大学を除く)で日本語教育を行っています。さらに、日本語教育を新たに取り入れる学校も、年々増えています(日本語を教えている初中等教育機関リストは国際交流基金ロンドン日本文化センターウェブサイトよりダウンロード可: [www.jpf.org.uk/language/listofschools.php](http://www.jpf.org.uk/language/listofschools.php))。

しかし、英国で、フルタイムの日本語教師の職に就くことは困難とされています。それは、フルタイムで勤務する日本語教師を要するほどの時間数をカリキュラム内で教えている学校が少ないためです。また、学校側も、いくつかの学校をかけもちして教えるパートタイム日本語教師や日本語以外の科目も教えらるる教員を求める傾向にあります。

### 英国で日本語を教える際に必要な資格

英国で日本語を教えるのに必ずしも必要な資格というものはありませんが、イングランドおよびウェールズの公立学校で教師になるには、Qualified Teacher Status (以下、QTS)が必要になります。QTSを取得するには、以下の5つの方法があります。(注意:私立学校においては、それぞれに採用基準がありますので、下記に当てはまらない場合もあります。)

### QTSを取得するためには

QTSを取得するための5つの方法を下記に載せません。各コースへの申し込みの詳細方法は、TDA(Training and Development Agency for Schools)のウェブサイト([www.tda.gov.uk/get-into-teaching/teacher-training-options.aspx](http://www.tda.gov.uk/get-into-teaching/teacher-training-options.aspx))で確認してください。

#### 1. 大学生としてティーチャートレーニング

一部の学科では、大学学部(BA)過程修了と同時にQTSを取得することができます(例:BA educationなど)。フルタイムの学生で3~4年、パートタイムの学生で4~6年かかります。

#### 2. 大学卒業生向けのティーチャートレーニング

既に大学学位(BA)を持っている人は、下記コースで1~2年のトレーニングを受け、QTSを取得することができます。

Postgraduate Certification in Education (PGCE) または  
School-Centered Initial Teacher Training (SCITT)

PGCE コースについて:

1年のフルタイムまたは2年以内のパートタイムが一般的で、英国内の大学やカレッジで開講されています。

SCITT コースについて:

隣接する学校やカレッジなどの複数の教育機関からなるプログラムで、通常1年のフルタイムになります。

上記コースに参加するには、英国の大学で取得した学位(BA)、または、それ同等と認められる資格が必要です。また、GCSE 英語および数学(または科学でも認められる場合があります)でC以上またはそれ同等と認められる成績を修めていなければなりません。学位・資格の承認については、UK NARICで確認してください。その場合、既に取得済みの学位は、英国の学校で教える科目に関係していることが条件となります(プライマリースクールの場合、取得した学位が国の定めるカリキュラムの主要科目に関連していることが必要です)。ただし、そうでない場合でも、プレトレーニングコースを受けて必要な知識が得られた場合、関連学部卒業同等とみなされることもあります。

- \* 授業料は、コースによって異なります。英国ならびにEU圏内出身者は、学生ローンや税金免除の奨学金(上限£9000)が申請できます。
- \* PGCEコースでQTSは取得できますが、他の似たような名称のコース(例:PGEやPGCなど)ではQTSは取得できませんので、ご注意ください。

## 3. 教師として働きながらのトレーニング

実際に学校で教師をしながらかも資格を取ること可能です。その場合、下記の方法があります。

- Graduate Teacher Programme (GTP)
- Registered Teacher Programme (RTP)
- Teach First

### GTP コースについて:

働きながら参加するトレーニングプログラムです。教育機関が雇用先となり、給料(£15,817 以上)が支給されます。雇用先で一定期間働き、コース修了と同時に、教師の資格(QTS)が授与されます。トレーニングは通常フルタイム(1 年以内)ですが、詳細は過去の教師経験などによって異なります。そのため、教師経験がある人は、1 年以内でコースを終えることができる場合もあります。GTP コースは英国(スコットランド除く)内のさまざまな学校で行われており、学校側と条件が合えば参加可能です。私立学校でも GTP コースを受けることが可能ですが、参加者の費用は全額自己負担となります。GTP コースで取得できる資格は、PGCE コースで取得できる資格と同等のものでありますが、GTP コースは、イングランドおよびウェールズ以外ではあまり認識されていません。

### RTP コースについて:

学位は取得していないが、2 年間の高等教育を修了し、既に学校で働いている教師(ただし資格教師ではない)向けのプログラムです。学校で教えながら、教師トレーニングを受け、理論を学びます。このコースは通常2年です。

### Teach First コースについて:

高い指導力やコミュニケーション能力のある大学卒業生が参加できるコースです。応募条件が厳しく、イギリス中部東および西地方、ヨークシャー地方、ロンドン地域の指導が大変と思われるセカンダリースクールに配属されます。このコースは通常2年です。

## 4. 査定ベース(学校雇用ベース)のトレーニング

学位所有者で、英国において教師経験があるが、QTS を持っていない人向けのコースです。このコースは通常1年です。詳細は、グロスター大学([www.glos.ac.uk/courses/teachertraining/Pages/qts.aspx](http://www.glos.ac.uk/courses/teachertraining/Pages/qts.aspx))に直接お問い合わせください。

## 5. Overseas Trained Teacher Programme (OTTP)

外国の教員免許を保持している人用のプログラムです。このプログラムでは、欧州経済地域(EEA)以外の国の教員免許を持つ人が、臨時採用の教師(無資格扱い)として、4 年を上限にイングランドの学校で教えることができます。期間を過ぎた後も教師を続ける場合、正式な QTS の資格が必要となりますが、4 年間の就業中、その取得のためのサポートとして、OTTP による個人的なトレーニングを受けることができます。QTS 取得後は、正式な教員資格所有者として、イングランド内で無期限に教えることができます。

## PGCE プログラムの日本語を受けることは可能?

シェフィールド大学では、他のヨーロッパ言語に加え、日本語の PGCE を開講しています。ただし、例年、ごく限られた人数のみの採用となります。セント・メアリーズ大学およびプリマス・セント・マーク&セントジョン大学では「日本語を補助言語として PGCE を認めることができる」としていますが、その場合、受講者はフランス語、ドイツ語、スペイン語のいずれかの言語も堪能でなくてはなりません。同様に、バース・SPA 大学も外国語(日本語を含む)の PGCE を行っていますが、(キー・ステージ 2、3、またはセカンダリー)、ヨーロッパ言語も堪能でなくてはなりません。ケント州・メドウェイ運営の SCITT プログラムでも、外国語教師を目指す研修生は特別言語のひとつとして、日本語が選択できます。また、ノッティンガム大学では、日本語を組み込んだ GTP を提供していますが、日本語教育を行う教育機関が斡旋先として受け入れ可能な場合のみです。

他に、別科目(例えば歴史や数学など)で PGCE を修了し、就職活動時に日本語も教えられると学校に交渉する方法もあります。または、日本語を含まない PGCE の教育実習生でも、日本語を教えている学校で教育実習が受けられる機会があるかもしれません。

また、上記教師研修コースの入学面接では、指導科目の授業を見学したことのある受験者の方が有利だと言われています。つまり、数日間または数週間、英国の公立学校で異なる学年の授業を見学し、クラス担任の役割を認識しておくことが有効だと考えられています。詳細は、TDA ホームページ([www.tda.gov.uk/get-into-teaching/career-exploration.aspx](http://www.tda.gov.uk/get-into-teaching/career-exploration.aspx))をご覧ください。

## The Japan Foundation London Fact sheet

- QTS を取得できる、もしくはその可能性のある教育機関の例

University of Sheffield (PGCE)  
シェフィールド大学  
<http://www.shef.ac.uk/education/courses/>  
Tel: 0114 22 8087  
担当: Terry Lamb  
[t.lamb@sheffield.ac.uk](mailto:t.lamb@sheffield.ac.uk)

St Mary's University College (PGCE)  
セント・メアリーズ大学  
<http://www.smuc.ac.uk/pgce>  
Tel: 020 8240 4154  
担当: Robert Vertes  
[bobv@smuc.ac.uk](mailto:bobv@smuc.ac.uk)  
*Early applications highly recommended*

Kent and Medway Training (SCITT)  
ケント州・メドウェイ運営  
<http://www.kmtraining.org.uk/>  
Tel: 01322 620518  
担当: Brenda Smith / Heidi King  
[bsm@leighacademy.org.uk](mailto:bsm@leighacademy.org.uk)  
[hki@leighacademy.org.uk](mailto:hki@leighacademy.org.uk)

Bath Spa University (PGCE)  
バース・スパ大学  
<http://www.bathspa.ac.uk/courses/teaching/>  
Tel: 01225 875875  
担当: Philip Campagna  
[p.campagna@bathspa.ac.uk](mailto:p.campagna@bathspa.ac.uk)

University of Nottingham (GTP)  
ノッティンガム大学  
<http://www.nottingham.ac.uk/education/courses>  
Tel: 0115 9514428 / 9514460  
担当: Lindsey Smethem / Anne Convery  
[lindsey.amethem@nottingham.ac.uk](mailto:lindsey.amethem@nottingham.ac.uk)  
[anne.convery@nottingham.ac.uk](mailto:anne.convery@nottingham.ac.uk)

University College Plymouth St Mark & St John (PGCE)  
プリマス・セント・マーク&セントジョン大学  
<http://www.marjon.ac.uk>  
Tel: 01752 636 700  
担当: Bernard Lien  
[blien@marjon.ac.uk](mailto:blien@marjon.ac.uk)

### 日本で取得した教員資格も英国で認定される？

Department for Education は EU 加盟国の教員資格のみを英国においても同様に認めています。ただし、日本で教員資格を取得し、英国の学校において無資格で教鞭をとっている場合、前述の OTTP を受けられる可能性があります（前述の OTTP の項参照）。

### どこで日本語教師の職を探することができる？

- ガーディアン (the Guardian/火曜日版) のエデュケーション・セクション (eG)
- タイムズ・エデュケーション・サプリメント (TES/Times Educational Supplement/金曜日版)
- 国際交流基金ロンドン日本文化センターのウェブサイトの求人情報  
[www.jpf.org.uk/language/teaching\\_job.php](http://www.jpf.org.uk/language/teaching_job.php) 日本語教師最新求人情報を定期的に掲載

### チャンスをつかむために、他にすべきことは？

- JLE-UK (国際交流基金の日本語教育関連メーリングリスト) に登録する。  
JLE-UK とは、現役の日本語教師と、日本語教育に携わる方の E メール・ディスカッショングループです。英国の日本語教育に関する最新情報をいち早く知ることができる上、在英教師達とコミュニケーションを図ることも可能です。[www.jpf.org.uk/language](http://www.jpf.org.uk/language)
- ALL (The Association for Language Learning) に参加する。  
ALL とは、中等教育における外国語教育の教師会です。ニュースレターを通して最新情報を知ることができます。[www.all-languages.org.uk](http://www.all-languages.org.uk)
- Japanese Taster for Schools プログラム (旧名称: StepOutNet プログラム) に参加する。  
日本語母語話者または日本語上級者による「日本語を紹介するボランティア・プログラム」です。教育機関で実際に授業を行うことで経験を積むことができます。  
[www.jpf.org.uk/language/teaching\\_stepout.php](http://www.jpf.org.uk/language/teaching_stepout.php)

## 日本在住の場合、すべきことは？

英国に住んでいなくても、インターネットを通じて求人情報を探すことはできますが、面接が受けられないなど不都合が生じるかもしれません。さらに、英国での就労可能なビザを持っていない場合、雇用先に労働ビザの申請を依頼しなければなりません。しかし、ビザ申請条件は年々厳しくなっています。

日本で既に中学校または高校の教師として3年以上働いている場合、REXプログラム(詳細は各都道府県の教育委員会または文部科学省ウェブサイト [www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/rex/main.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/rex/main.htm) を参照)という選択肢もあります。日本で働いている教師が海外の学校で日本語や日本文化を教えるためのプログラムで、1990年に設立され、現在は文部科学省により運営されています。事前にインテンシブ・トレーニング・プログラムを受け、実際に海外で教えた後、日本で教職を再開することができます。

## その他の情報

- TDA (Training and Development Agency for Schools) [www.tda.gov.uk](http://www.tda.gov.uk) Tel: 0845 6000 991  
教師資格(QTS)については、TDAのホームページをご覧ください。または、直接TDAにお問い合わせください。  
QTS取得方法(PGCE、GTP、OTTPを含む): [www.tda.gov.uk/Recruit/thetrainingprocess/typesofcourse.aspx](http://www.tda.gov.uk/Recruit/thetrainingprocess/typesofcourse.aspx)  
QTS Standards および Initial Teacher Training (ITT)について: [www.tda.gov.uk/partners/ittstandards.aspx](http://www.tda.gov.uk/partners/ittstandards.aspx)
- GTTR (The Graduate Teacher Training Registry) [www.gttr.ac.uk](http://www.gttr.ac.uk) Tel: 0871 468 0 469  
Graduate Teacher Training コースの申し込みを受け付けているところです。
- UK NARIC (The National Academic Recognition Centre)  
[www.naric.org.uk](http://www.naric.org.uk) Tel: 0871 330 7033 E-mail: [info@naric.org.uk](mailto:info@naric.org.uk)  
英国内外の教員資格を比較・検討する国立機関です。英国以外の国で教員資格を既に取得済みで、英国内でQTS取得を目的としたコースに参加希望の場合、UK NARICに申し込み、自国の教員資格が英国のものに相当するかどうかの審査を受けなければなりません。

※ 日本人向けの日本語教師養成コースを開催している民間教育機関は英国内にいくつかあります(下記参照)。ただし、これらコースで取得できる資格は、TDA または GTTR から公式認定を受けていないため、Qualified Teacher Status (QTS)の資格とはなりません。

Alpha Language Institute  
アルファ国際学院  
Tel: 020 7849 6935  
Email: [london@alpha.ac.jp](mailto:london@alpha.ac.jp)  
Web: <http://www.alphalondon.co.uk>

Euro Japanese Exchange Foundation (EJEF)  
Tel: 01494 882091  
Email: [info@ejef.co.uk](mailto:info@ejef.co.uk)  
Web: <http://www.ejef.co.uk/japanese/index.html>

Institute of International Education in London  
英国国際教育研究所  
Tel: 020 8331 3100  
Email: [enquiries@iie.org.uk](mailto:enquiries@iie.org.uk)  
Web: <http://www.iie.org.uk>

The Japan Foundation London  
Russell Square House, 10-12 Russell Square, London WC1B 5EH  
Tel: 020 7436 6698 Fax: 020 7323 4888  
Email: [info.language@jpf.org.uk](mailto:info.language@jpf.org.uk)  
Website: [www.jpf.org.uk/language](http://www.jpf.org.uk/language)

